

2014.7.15

アポイ岳 再登頂 その 1

7/14の残りの部分は後回しで掲載します。7/15は4:30に宿を出て襟裳岬経由～苫小牧港の観光を予定していたが、その区間のほとんどの観光地はすでに見ているので、「花の百名山」アポイ岳の花々を見る事に予定変更する。8:00過ぎに登山口に到着、朝食食べたり、荷物の整理をしたりで登山口9:15発 懐かしい 10:20に5合目の避難小屋着。此処からは物凄い数のイブキジャコウソウの群生が延々山頂まで続く。恐らく日本一の数だと思います。以降高山植物の連続。この山は「かんらん岩地」のために固有種が多い花の山として有名です。ヒダカソウとアポイマンテマが特に。予想以上に天候が悪くてガスで濡れるので上だけ雨具を着用する。花を眺めながらユックリ登る。イブキジャコウソウ・キンロバイ・サマニオトギリが多かった。

エゾノカラマツバ



イブキジャコウソウ



エゾコウゾリナ



エゾタカネニガナ



アポイハハコ



アポイヤマブキシウマ



アポイマンテマ



ヒメエゾネギ



サマニオトギリ



花の名前が不明のものもあったが、帰宅してからユックリ調べたい。北海道新聞社刊の「北海道の高山植物」誌を持っているので。実はこの本を持参して登山しましたが、時間の関係であまり本を開いて見る事ができませんでした。フェリーの時間があるので。11:50に山頂着。此処は木で展望効かず。

キンロバイの大株



アポイ岳頂上



12:40 下山開始。幌満お花畑経由で。13:00に幌満花畑に到着。此処はヒダカソウの群生地であったが、相次ぐ盗掘で現在はほとんど見られなくなってしまった。(花期は5月)13:35に分岐点着。天候が回復して青空になる。写真の写りも良くなりそう。14:20避難小屋着、15:15に登山口着。アポイ山荘で入浴して苫小牧東港発 19:30 発の新潟港行に乗船しました。